

第 160 回 学長定例記者会見

日時：令和 5 年 10 月 26 日（木）13：30 ～ 14：00

場所：広島大学 広仁会館 中会議室（広島市南区霞 1-2-3）

※ テレビ会議システムによる配信は行わない

※ YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 採択関連

- ① 内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」第3期『スマートモビリティプラットフォームの構築』に本学の提案「交流の場が集積する新モビリティ指向型都市の開発～モビリティのリ・デザインによる 15 分都市の実現～」が採択されました

（10/6 採択）

- ② 文化庁 令和 5 年度「日本語教師養成・研修推進拠点整備事業」に、本学が中国・四国ブロックの拠点校として採択されました（9/29 採択）

- ③ 厚生労働省 令和 5 年度「脳卒中・心臓病等総合支援モデル事業」に選定され、広島大学病院に脳卒中・心臓病等総合支援センターを設置しました（10/1 開設）

2. 広島大学教育学部に、寄附講座「子供の多様性を感じて育てる教育体験×教員研修インターンシップ講座」を設置します（11/1 設置）

3. ホームカミングデー

- ① 第 17 回広島大学ホームカミングデーを開催します（11/4 開催）

- ② マスコットキャラクター「ひろティー」の着ぐるみを製作しました！

4. 75+75 周年事業

【広島大学クラウドファンディング公開のご案内】

広島と共に。広島大学創立 75+75 周年ラッピング電車プロジェクト！

（10/26 公開）

5. 地域や企業と連携する広島大学イノベーション・commons（共創拠点）

構築に向けて、東広島キャンパスにローカル 5G システムを整備しました

（11/4 開局記念式典、11/6 運用開始）

【お知らせ事項】

1. 第19回両生類研究センター企画展「シッポに注目！有尾両生類」を開催します（11/18開催）
2. 第35回サイエンスカフェ「ノジュールって何？へんな塊（かたまり）からわかること」を開催します（11/19開催）
3. 広島大学公開シンポジウム 地域の挑戦「生産性向上と関係人口づくり」参加者募集のお知らせ（11/1開催）

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和5年11月下旬

場所： 広島大学 東広島キャンパス

令和 5 年 10 月 26 日

内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)」第 3 期『スマートモビリティプラットフォームの構築』に本学の提案「交流の場が集積する新モビリティ指向型都市の開発～モビリティのり・デザインによる 15 分都市の実現～」が採択されました

内閣府が実施し、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) が管理する戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 第 3 期『スマートモビリティプラットフォームの構築』に、本学の提案が 2023 年 10 月 6 日に採択されました。本事業は、モビリティサービスの再定義と社会実装に向けた戦略策定を進めるとともに、インフラのり・デザインに向けた研究開発を進め、安全、快適、活気あふれる交通インフラ技術の開発、モビリティサービスを支えるデータ基盤の構築等を実施するものです。

本課題『スマートモビリティプラットフォームの構築』には、31 件の提案があり、本学のほか東北大学、京都大学など計 15 件が採択されました。今回の提案は本学、東京大学、呉工業高等専門学校、(株)バイタルリード、パシフィックコンサルタンツ (株) の 5 機関による共同提案で、5 年間で約 4 億 5 千万円の予算が配分されます。

本提案は、少子高齢化、人口流出、労働者不足、外出機会の減少などの地方が抱える共通課題を突破するため、知能が集積する大学城下町「東広島市」をモデルに都市空間やモビリティサービスのあるべき姿を描きます。

研究テーマ：交流の場が集積する新モビリティ指向型都市の開発
～モビリティのり・デザインによる 15 分都市の実現～

研究統括責任者：ふじわらあきまさ 藤原章正 (広島大学・IDEC 国際連携機構・教授)

研究開発課題：

- ・ MOD の開発のためのまちぐるみシミュレータ
研究開発責任者 ちからいし まこと 力石 真 (広島大学・大学院先進理工系科学研究科・教授)
森山昌幸 ((株) バイタルリード・代表取締役)
- ・ MOD の開発のためのり・デザイン
研究開発責任者 神田佑亮 (呉工業高等専門学校・教授)
- ・ MOD の開発のためのインフラ協調技術の仕様抽出
研究開発責任者 須田義大 (東京大学・生産技術研究所・教授)
- ・ MOD の開発のためのデジタルツインサンドボックス
研究開発責任者 藤原章正 (広島大学・IDEC 国際連携機構・教授)
渡邊 健 (パシフィックコンサルタンツ (株) 社会イノベーション事業本部交通政策部・チーフコンサルタント)

【お問い合わせ先】

担当：広島大学 IDEC 国際連携機構・渡邊
TEL：082-424-4314
E-mail：contact@its.hiroshima-u.ac.jp

令和 5 年 10 月 26 日

**文化庁 令和 5 年度「日本語教師養成・研修推進
拠点整備事業」に、本学が中国・四国ブロックの
拠点校として採択されました**

文化庁が実施する「日本語教師養成・研修推進拠点整備事業」は、日本語教師養成・研修を担う高度な専門人材の育成、地域のニーズに応じた養成・研修を行う人材の育成・確保を推進する拠点整備を目的としています。

本学は、本事業における中国・四国ブロックの拠点校として、以下の取り組みを行うことを申請し、令和 5 年 9 月 29 日に採択されました。事業対象期間は令和 5 年度から同 9 年度までの 5 か年度で、1 年度につき 1,000 万円を上限として予算が配分されます。

また、全国では本学のほか東北大学、筑波大学など計 7 法人が各ブロックの拠点校として採択されています。

本学は、中国・四国地区の日本語教師養成を行う大学・大学院の拠点として、地域の認定日本語教育機関、地方公共団体における担当部署、国際交流団体、NPO、民間企業等が参画するネットワークを構築し、日本語教師養成や研修の実態把握と情報共有を行います。また、拠点校である本学が中心となり日本語教師養成者を育成するプログラムの開発を行います。具体的には、以下の取組を実施します。

- 日本語教師養成実施機関連絡協議会（中国・四国ブロック）の設置
- ティーチング・フェロー制度を活用した日本語教師養成者育成プログラムの開発

これらの取組を通して、中国・四国地区における日本語教師養成・研修を担う高度人材の育成を推進して参ります。

【お問い合わせ先】

人間社会科学研究科 教授 仁科 陽江
TEL:082-424-6873
E-mail : ynishina@hiroshima-u.ac.jp

教育学系総括支援室 総務担当 島原 由起
TEL:082-424-6705
E-mail : ed-sou-jin@office.hiroshima-u.ac.jp

令和 5 年 1 0 月 2 6 日

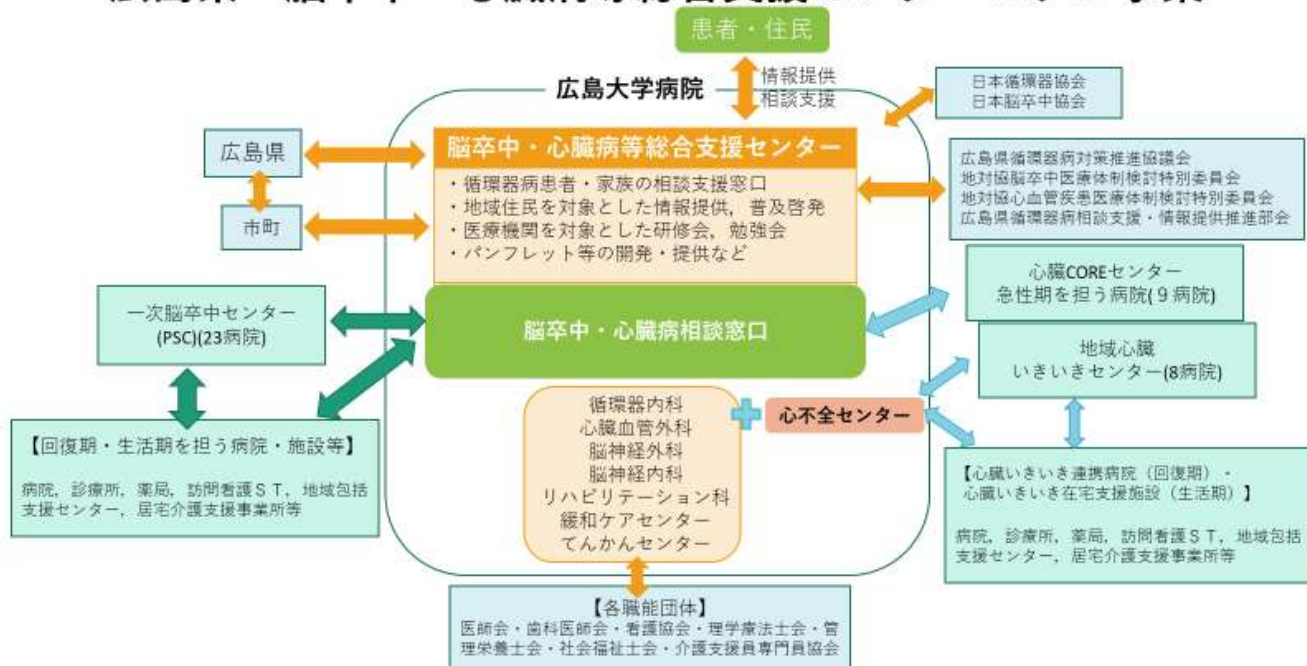
厚生労働省 令和 5 年度「脳卒中・心臓病等総合支援モデル事業」に選定され、広島大学病院に脳卒中・心臓病等総合支援センターを設置しました

厚生労働省の令和 5 年度「脳卒中・心臓病等総合支援モデル事業」に広島大学が選定され 10 月 1 日、「脳卒中・心臓病等総合支援センター」(センター長：中野由紀子・循環器内科教授)を大学病院に開設しました。患者相談窓口を置き、循環器内科、脳神経外科、脳神経内科、心臓血管外科などが連携し、多職種による 24 人(兼任含む)で診療体制の構築に取り組みます。また、情報提供や普及活動にも力を入れていきます。国からの補助金は 1800 万円です。

なお、中国四国地区では、鳥取大学医学部附属病院や愛媛大学医学部附属病院も今年度選定されています。

モデル事業は都道府県と地域の中心的な医療機関が連携して、患者への包括的な支援体制を推進するものです。広島県とともに実施計画を作成しました。具体的には①循環器病患者・家族の相談支援窓口の設置②地域住民を対象とした循環器病について予防に関する内容も含めた情報提供・普及啓発③地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会等の開催④相談支援を効率的に行う、資材(パンフレットなど)の開発・提供を進めていきます。

広島県 脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業



【お問い合わせ先】

広島大学病院循環器内科教授 中野由紀子
 Tel : 082-257-5540 (平日10:00~17:00)
 E-mail : nakanoy@hiroshima-u.ac.jp

令和 5 年 10 月 26 日

広島大学教育学部に、寄附講座「子供の多様性を
感じて育てる教育体験 × 教員研修インターンシップ
講座」を設置します



広島大学教育学部のミッションは、小学校から高等学校までの優れた教員や、生涯学習社会の幅広い職業分野で活躍できる教育的リーダー、次世代の教育界を支える研究者人材を育成することであり、その達成に取り組んでまいりました。

このたび、本学部の取り組みに賛同いただいた日本産学フォーラム（代表世話人 五神 真 氏）からの寄附により、11 月 1 日に寄附講座「子供の多様性を感じて育てる教育体験 × 教員研修インターンシップ講座」を広島大学教育学部に設置することとなりました。

寄附講座においては、教育現場の課題解決に資する試みとして、広島県安芸太田町教育委員会等の協力のもと、教育現場で実践されている教員研修へ、教員をめざす学生を全国からインターンシップとして招き入れ、優秀な学生の教員就職意欲の向上を図るなどの取り組みを行います。

本学部は、社会の変化とともに多様化する教育諸課題を理論と実践の統合によって、学際的・総合的視点から探究するとともに、21 世紀にふさわしい学校教育の創造と生涯学習社会構築への貢献を目指してまいります。

< 参考情報 >

寄附総額：3,000 万円

（令和 5 年度：1,500 万円、令和 6 年度：1,500 万円）

寄附講座設置期間：令和 5 年 11 月 1 日～令和 7 年 10 月 31 日

寄附者：日本産学フォーラム

産業界と学会を代表するリーダーが相互間の意見交換や、諸外国の産学のリーダーとの交流を通して、世界的な視点から 21 世紀の社会を担う人づくり、教育、研究技術開発などに対する産学協同のあり方について検討・政策提言を行い、21 世紀の国民生活・経済にかかわる基本的諸問題の解決に寄与することを目的とした任意団体。

【お問い合わせ先】

教育学系総括支援室 支援室長 原 準一

TEL:082-424-6701

E-mail : kyoiku-siencho@office.hiroshima-u.ac.jp

令和 5 年 10 月 26 日

第 17 回広島大学ホームカミングデーを開催します

広島大学では、東広島キャンパスで令和 5 年 11 月 4 日(土)、霞キャンパスでは、11 月 11 日(土)、東千田キャンパスでは、11 月 2 日(木)に第 17 回広島大学ホームカミングデーを開催いたします。

広島大学ホームカミングデーは、広島大学と広島大学校友会が卒業生や元教職員、地域の皆様などを招待し歓待するイベントとして、毎年実施しています。

今回は、東広島キャンパスでは、サタケメモリアルホールをメイン会場に、オープニングセレモニーで学長表彰・教育賞授与式、広島大学統合報告書 2023 の報告会を実施し、続いてサイエンス作家の竹内薫さんによる講演会「AI 時代に求められる思考法」を開催します。会場の外では連携市町による物産展や学生による体験・展示ブースやステージパフォーマンスも予定しています。

また、霞キャンパスでは、細胞生物学者・発生生物学者の竹市雅俊氏による講演会「くっついたり離れたり：細胞が体を構築する仕組み」、東千田キャンパスでは、広島の法曹界の方を招き、公開講座を開講いたします。

なお、東広島キャンパスでは大学祭と教育学部祭 E-storm を 11 月 4 日(土)、5 日(日)、霞キャンパスでは霞祭を 11 月 11 日(土)、12 日(日)に開催いたします。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

※詳細内容については、添付しております校友会だより第 34 号(1～5 頁)をご覧ください。

【お問い合わせ先】

基金室(校友担当) 木本、山崎、内城
Tel : 082-424-4403/Fax : 082-424-6179



令和 5 年 10 月 26 日

マスコットキャラクター「ひろティー」の
着ぐるみを製作しました！

このたび、広島大学 75+75 周年記念事業の一環として、広島大学マスコットキャラクター「ひろティー」の着ぐるみを製作しました。

2020 年 3 月に本学構成員の連帯感を高め、魅力や情報の発信力を強化するため、本学初となるマスコットキャラクター「ひろティー」が誕生しました。誕生以来、「ひろティー」をあしらった今治ライトタオルやカープ坊やとコラボした T シャツやトートバッグなどさまざまなひろティーグッズを製作しています。

今回製作した着ぐるみは、東京都の株式会社キグルミックスに依頼。表面には 2~3mm の毛足があるソフトボアという生地を使用しているため、ぬいぐるみのような質感があります。裏面にはセシーナという撥水性の乾式合皮を使用しています。頭と胴体は一体型でバルーンのように本体を空気のかで膨らませるエアタイプを着ぐるみです。内部の空間が広いため圧迫感がなく、熱や湿気が籠もりにくいことが大きな特徴です。

また、デザイナーのカミガキヒロフミ氏によりデザインされたひろティーを立体的に再現するべく、尻尾やとさかの表現にこだわって製作しました。ひろティーのファッションアイテムであるスカーフは本学のスクールカラーのグリーンを使用しています。

11 月 4 日（土）に開催される本学のホームカミングデーを皮切りに、各種イベント等で積極的に活用していきたいと考えています。

<デザインイメージ>



<サイズ> 横 幅：1935mm
高 さ：2180mm
奥行き：1090mm

【お問い合わせ先】

広報室
E-mail : koho@office.hiroshima-u.ac.jp

令和 5 年 1 0 月 2 6 日

【広島大学クラウドファンディング公開のご案内】
広島と共に。広島大学創立 75+75 周年
ラッピング電車プロジェクト！

広島大学は、2024 年に創立 75 周年、その前史である 75 年も加えると 150 年の節目の年を迎えます。

この周年事業の一環として、「広電」の愛称で親しまれる広島電鉄の路面電車に広島大学オリジナルデザインのラッピングを施した、“広大×広電”電車を運行するプロジェクトを立ち上げ、「広島大学クラウドファンディング」（READYFOR 社 提携）として、公開します。

電車デザインは、学内（学生・教職員）から公募を行い、理学部の学生の提案をベースに決定いたしました。

皆様のご理解とともに、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【プロジェクトについて】

#広島と共に。広大×広電 75+75 周年ラッピング電車プロジェクト！

公開期間：2023 年 1 0 月 2 6 日（木）～1 2 月 2 5 日（月）

目 標 額：1, 0 0 0 万円

資金の活用先：ラッピング電車にかかる掲出料、施工費、
クラウドファンディング手数料等

URL：<https://readyfor.jp/projects/hirodai150th>

■施工形式

フルラッピング

■運行期間

2024 年 1 月（予定）～2024 年 12 月末日まで

■主な運行路線

広島電鉄 1 号線：広島駅～紙屋町東・本通り経由～広島港

※電車の運行状況により別の路線を走る可能性もあり

【お問い合わせ先】

広島大学 基金室 松田

TEL:082-424-6132

E-mail：soumu-koyu@office.hiroshima-u.ac.jp





目標金額 **1,000**万円 2023年 **10月26日** (木) 10時~**12月25日** (月) 23時

＼クラウドファンディングにて、ご寄付を募集します！／

広島と共に。広島大学創立75+75周年 ラッピング電車プロジェクト！

※本プロジェクトはAll in方式のため、目標金額の達成の有無にかかわらず寄付金を受け取ります。
※本プロジェクトへのご寄付は広島大学へのご寄付となり、税制優遇の対象となります。

“広大”の愛称で親しまれている広島大学。
“広電”の愛称で親しまれている広島電鉄の路面電車。

この度、広島大学が2024年に創立75周年、その前史である75年も加えると150年の節目の年を迎えるにあたり、広島大学のオリジナルデザインでラッピングし、“広大×広電”電車を走らせるプロジェクトを立ち上げました。
電車デザインは、学内（学生・教職員）から公募を行い、理学部の学生の提案をベースに決定いたしました。

2023年4月、広島大学は法学部を東千田キャンパスに移転しました。キャンパス境界が多く、若者で賑わい、地域や企業の皆様との交流が深まり、ひいては広島の地の更なる活性化につながることを願って、私たち広島大学は、広島で暮らす皆様、広島を応援する皆様と一緒に、“広大×広電”電車を走らせるプロジェクトを作りあげていきたいと考えています。

長年、広島大学とともにあり続ける「広電」路面電車。
皆様の温かいご寄附を、どうぞよろしくお願いいたします！



お問い合わせ先（広島大学 基金室）

<https://readyfor.jp/projects/hirodai150th>

EMAIL : kikin@hiroshima-u.ac.jp TEL : 082-424-6132



広大ラッピング電車 レディーフォー



令和 5 年 10 月 26 日

地域や企業と連携する広島大学イノベーション・commons（共創拠点）構築に向けて東広島キャンパスにローカル 5G システムを整備しました（11/4 開局記念式典、11/6 運用開始）

広島大学は、富士通ネットワークソリューションズ株式会社による技術・運用サポートのもと、地域課題解決に向けた実証実験基盤として、東広島キャンパスにローカル 5G システムを整備しました。

本システムは、2030 年を目標とする「広島大学カーボンニュートラル×スマートキャンパス 5.0 宣言」により、現在東広島市と広島大学で推進する Town & Gown 構想「イノベーション・commons（共創拠点）」構築事業の一つで、大学と企業、地域が連携したスマートシティの構築、DX 推進等に資する実証実験などに活用するため、2023 年 11 月から運用を開始する予定です。

また、広島大学ローカル 5G 開局記念式典と本設備を活用したデモ展示を以下のとおり開催します。

ご多忙の中大変恐縮ですが、是非取材いただきますよう、よろしくお願い致します。

■ 広島大学ローカル 5G 開局記念式典（別紙参照）

日時：11 月 4 日（土）15：30～16：00

会場：情報メディア教育研究センター 本館 2F セミナー室 1

■ 本設備を活用したデモ展示（別紙参照）

日時：11 月 4 日（土）10：00～15：00

11 月 5 日（日）10：00～16：00

会場：情報メディア教育研究センター 本館 2F セミナー室他

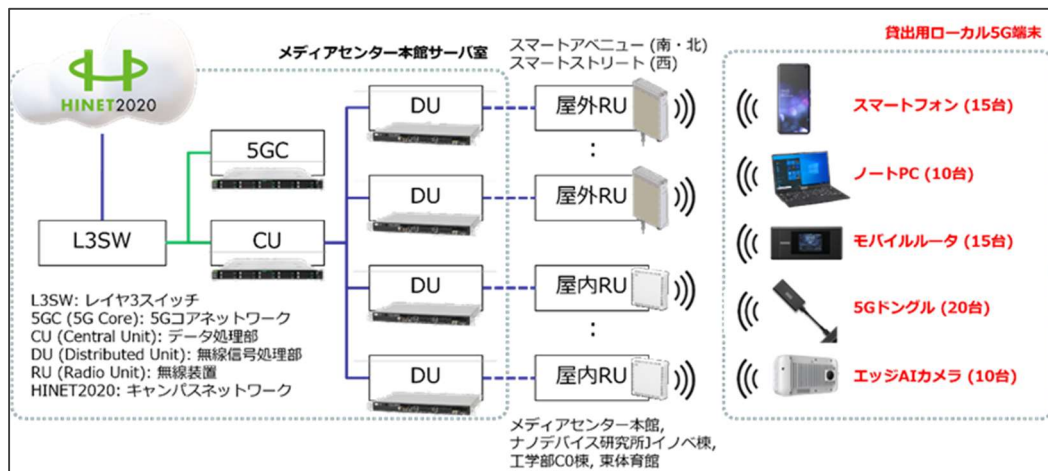
<https://www.media.hiroshima-u.ac.jp/2023/09/29/event-hcd-15g/>

<ローカル 5G とは>

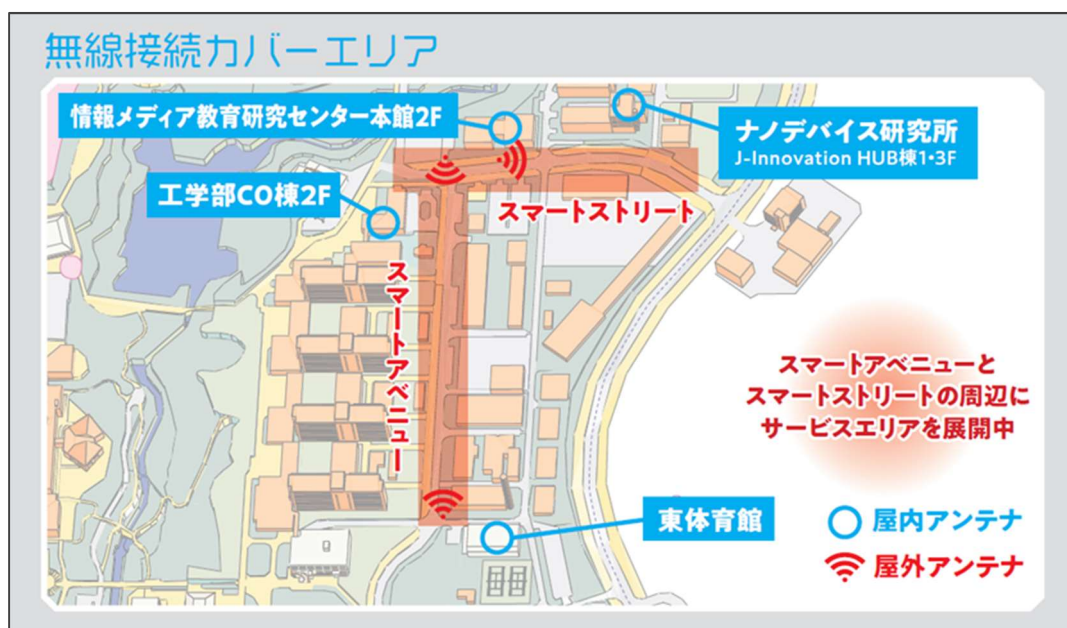
ローカル 5G は限られた地域での使用を目的とした通信サービスです。「高速大容量」であることに加え、他のネットワークとは完全に区別されているため、遅延や不接続などのトラブルがほぼ生じないことが特徴です。通信速度はこれまでの通信規格である 4G の約 20 倍です。

【今回構築するシステムの概要】

今回構築するローカル 5G システムは、スタンドアロン方式を採用しており、東広島キャンパス内の 7 箇所（屋内×4 箇所/屋外×3 箇所）にアンテナを整備します。また、本システムは既設キャンパスネットワークとも接続し、今後、研究用途としても利用可能です。



<図 1 システム概要>



<図 2 エリアマップ>

【今後について】

本システムを導入する東広島キャンパスは、教育研究の高度化、地方創生などに貢献するイノベーション・コモンズ（共創拠点）を目指しています。今後、様々な企業や地域と連携しながら実証実験を進めていき、得られた結果・知見をもとに、東広島市・広島大学 Town & Gown 構想の推進による次世代学園都市構想の実現などに貢献します。

【お問い合わせ先】

財務・総務室情報部
情報化推進グループ 宮本 雅臣
TEL:082-424-5768 E-Mail:jyoho-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学ローカル5G開局記念式典 次第

日時：2023年11月4日（土）15:30～16:00 開場：15:00

会場：広島大学情報メディア教育研究センター 2階セミナー室1

1. 開会挨拶
広島大学長
越智 光夫
2. 来賓挨拶
総務省中国総合通信局長
小原 弘嗣 様
3. 記念撮影
4. 広島大学ローカル5G整備概要説明
広島大学情報メディア教育研究センター長 西村 浩二
5. 広島大学ローカル5G利活用に関する説明
広島大学 Town & Gown Office シニアリサーチャー
高瀬 正道
6. 質疑応答

（デモ展示説明及び撮影時間 15:00～15:30, 16:00～17:00）

ローカル5Gを体験しよう

2023年 **11月4日(土)5日(日)**

11/4(土)10:00~15:00 (アバターロボット展示は17:00まで)

11/5(日)10:00~16:00

会場：情報メディア教育研究センター 本館2F セミナー室 他

ローカル5Gを利用した以下のデモ展示を行います。

① 電波可視化

ローカル5Gの電波を電波測定アプリで測定し、その様子をMRヘッドセットで可視化します。電波の強さや電波の届く範囲など、普段見えないものを視覚的に体験することができます。



② 遠隔操縦体験

ライセンスバンド（広島大学内に登録された無線局）による安定した通信品質と低遅延を体感していただきます。展示では、ラジコンカーを使い遅延時間を比較します。



③ 360° 遠隔作業支援

離れた場所の360°映像をリアルタイムに伝送し、VRゴーグルに映し出します。その場にいるような、臨場感あふれる映像を見ながらコミュニケーションをとることができます。



④ アバターロボット「newme (ニューミー)」

avatarin(株)が手掛けるアバターロボット「newme」の遠隔コミュニケーション実演を行います。

※11/4と11/5で会場が異なります。



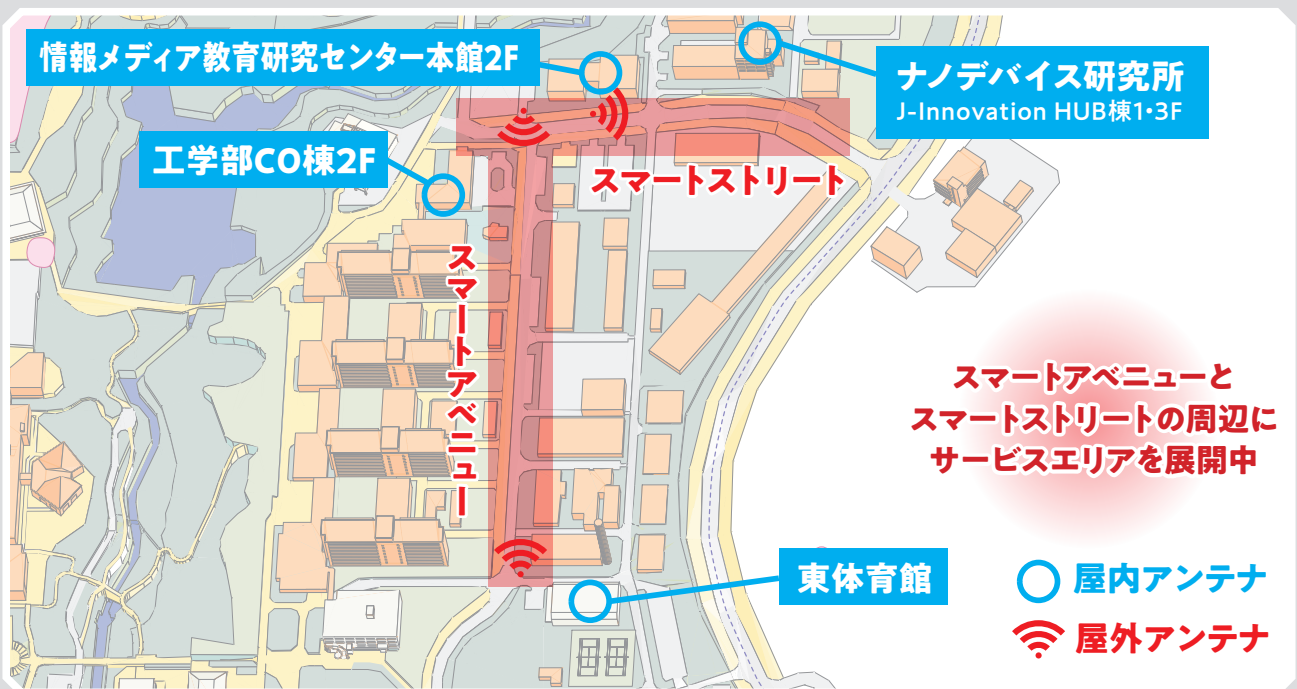
会場地図



広島大学ローカル5G

広島大学は2023年8月、東広島キャンパス内に自営の第5世代モバイル通信システム（ローカル5G）を整備しました。これは広島大学が通信キャリアと同じように、大学敷地内で無線通信サービスエリアを展開していることになります。ローカル5Gには高速大容量・低遅延・多数同時接続という5Gの特性を持ったネットワークを、目的に合わせて柔軟にデザインして構築できる強みがあります。通信に使われる電波の周波数帯は、Wi-Fiや大手キャリアが提供する5Gのものとは異なるため、他からの干渉が小さく、安定した無線通信が可能です。このような特徴をもった広島大学ローカル5G（広大L5G）は、多様なユースケースに対応できる最先端技術の実証環境としての活用が期待されています。

無線接続カバーエリア



貸出可能機器リスト (広大L5G対応)

手ぶらですぐに広大L5Gを利用したい方

スマートフォン型端末

型名：FCNT SMDE01001（型式：SD01）
台数：15
※電波測定アプリインストール済



ノートPC型端末

型名：Fujitsu LIFEBOOK U9312/K
（型式：9U13A3）
台数：10



カメラ内蔵エッジデバイス

型名：FCNT 5G・ローカル5G対応
エッジAIカメラ
（型式：AW02）
台数：10



お持ちのPCやスマホなどで広大L5Gを利用したい方

※USB Type-C(各種アダプタも用意)

モバイルルータ型端末

型名：KYOCERA K5G-C
（型式：KYOCERA K5G-C-100A）
台数：15



ドングル型端末

型名：APAL Tributo dongle（型式：Tributo）
台数：20



お持ちの5G対応端末で広大L5Gを利用したい方

SIMカード

サイズ：nano SIM
枚数：30
※対応するデバイスの確認が必要です。要相談。

問合せ先：広島大学情報メディア教育研究センター

<https://www.media.hiroshima-u.ac.jp/services/local5g/>



詳細や利用申し込みは
こちらから

令和5年10月26日

第19回両生類研究センター企画展
「シッポに注目！有尾両生類」
を開催します。(11/18 [土] 開催。今年度の最終回です。)

両生類研究センターでは、生きている様々なカエルやイモリ、オタマジャクシなどを、工夫を凝らして展示する「企画展」を開催しています。開催は、春から秋にかけ、2ヶ月に1回程度の頻度です。平日の常設展には無い特別な両生類展示の企画を準備して、学内外の皆さまをお持ちしています。事前の申し込みは不要です。ご自由にご来場ください。



前回の企画展の様子

今年度の企画展は「比べてみよう」がテーマです。今年度はこのテーマに沿ってこれまでに下記の企画展を行い、延べ440名の方々にご参加いただきました。

第16回「2種のツメガエルを比べてみよう！」5月20日(土)参加者82名

第17回「なにが違う？どこがちがう？両生類と、は虫類」7月22日(土)参加者132名

第18回「なに食べてるの？両生類たちのごはん事情」9月23日(土)参加者226名

次の第19回「シッポに注目！有尾両生類」は今年度の最終回。皆さまの越しをお待ちしています。

日時：2023年11月18日(土)

13:00~15:00

場所：広島大学両生類研究センター

(<https://amphibian.hiroshima-u.ac.jp/>トップページ上の「アクセス」をご参照ください。)

予約：不要

料金：無料



【お問い合わせ先】

両生類研究センター事務室

濱本 由美子

TEL:082-424-7328 FAX:082-424-0739



シッポに注目! 有尾両生類

日時:11月18日(土) 13:00~15:00
場所:広島大学 両生類研究センター

第19回 両生類研究センター企画展を開催いたします。

今年最後の企画展は、尻尾をもった両生類たち、“有尾(ゆうび)両生類”が主役です。尻尾をもたない“無尾(むび)両生類”との違いや、同じ有尾両生類の中でも、サンショウウオとイモリにどのような違いがあるのか、ふれあいコーナーや生体展示を行いながら紹介していく予定です。両生類とスタッフ一同、たくさんの方のご来場を楽しみにお待ちしております!

*予約不要でご入場いただけます。
今年度もたくさんの方にご来場いただき誠にありがとうございました。
企画展は来年度も開催予定です。



両生類研究センター
へのアクセス



両生類研究センター
ホームページ

お問合せ先: [frogjimu\(a\)hiroshima-u.ac.jp](mailto:frogjimu(a)hiroshima-u.ac.jp)

* (a)を@に変更してメールをお送りください。



令和 5 年 10 月 26 日

第 35 回サイエンスカフェ
「ノジュールって何？ へんな塊（かたまり）からわかること」
を開催します（11/19 開催）

広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センターでは、第35回サイエンスカフェを下記の通り開催します。今回はノジュールという地層中に時折みられる、周囲とは成分の違うへんな塊（かたまり）の謎に迫ります。

ゲストの先生も参加者のみなさんもコーヒーを片手にくつろいだ雰囲気を楽しむサイエンスカフェ。身近な科学に興味がある方なら、どなたでも気軽にご参加いただけます。

記

【日 時】令和5年11月19日（日）14:00～16:00（開場 13:30）

【場 所】広島大学フェニックス国際センター^{ミライ クリエ}MIRAI CREA 1階 多目的スペース
東広島市鏡山一丁目4番5号（東広島キャンパス南側）
<https://miraicrea.hiroshima-u.ac.jp/>

【テーマ】ノジュールって何？ へんな塊（かたまり）からわかること

【話し手】黒島 健介（広島大学総合博物館 学芸職員）

【内 容】ノジュールというと聞きなれない言葉かもしれませんが、地層中に時折みられる、周囲とは成分の違う色々な形の塊のことです。海の底や土の中、死んだ生物の周りなど、さまざまな場所で形成され、その組成も、形も、中身もさまざまです。
今回のサイエンスカフェでは、そのようなノジュールについて紹介するとともに、ノジュールを調べることでわかる大昔の気候や生物についても触れていきます。

【参加費】無料

【参加申込】右のQRコードよりお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/zyhEC9A7Ww>
申込期限 11月17日（金）
定員（50人）に達した場合は締め切らせていただきます。ご了承ください。



【サイエンスカフェHP】https://www.hiroshima-u.ac.jp/rigakuyugo/science_cafe

【お問い合わせ先】

広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センター
E-mail : ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp
Tel : 082-424-4384

広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センター
第35回 サイエンスカフェ

ノジュールって何？ へんな塊(かたまり)からわかること



ノジュールというと、聞きなれない言葉かもしれません。
日本語に直すと「団塊(だんかい)」。地層の中にたまに入っている、へんなかたまりのことです。コンクリーションとも呼ばれます。
丸いものもあれば、ひらべったいものやごつごつしたものも。そんなへんな塊を調べていくと、意外と面白いものが入っていたり、面白いことがわかったりします。そんな、「へんなもの」の世界を少しのぞいてみませんか？

【話し手】黒島 健介 (広島大学総合博物館)
専門：地質学・古気候学

【聞き手】ファシリテーター &
参加者のみなさん

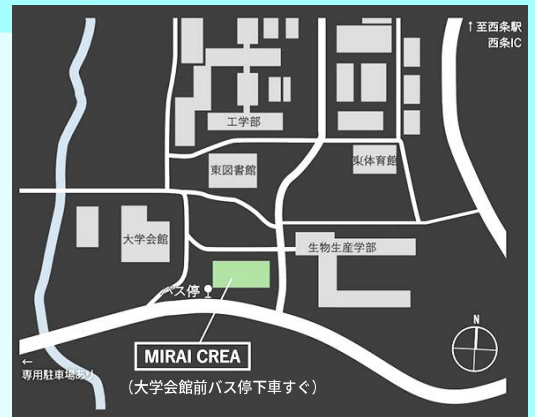
日時：2023年11月19日(日)
14:00~16:00 (開場 13:30~)

場所：広島大学フェニックス国際センター
ミライ クリエ
MIRAI CREA 1階 多目的スペース

参加費：無料

申込み：右のQRコードよりお申し込みください。
(定員50名程度, 申込期限 11/17)

お問い合わせ：広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センター
E-mail: ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp / Tel:082-424-4384





令和 5 年 10 月 26 日

広島大学公開シンポジウム 地域の挑戦
「生産性向上と関係人口づくり」 参加者募集のお知らせ

人口減少や高齢化により、多くの地域で地域づくりの担い手不足という課題に直面しています。そのような地域で、地域創生、活性化に取り組む人々の挑戦を紹介するとともに、変化を生み出す若者を呼び込み、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となる可能性について検討することを目的に本シンポジウムを開催します。

地域の問題は決して他人事ではありません。身近な問題として考え、地域振興に興味のある方や行政担当者の方など、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

参加を希望される方は下記申し込みフォームからお申込みください。

記

【日時】 令和 5 年 11 月 1 日（水） 13 時 30 分～16 時 30 分

【場所】 東千田キャンパス地域連携フロア「SENDA LAB」
（広島市中区東千田町 1-1-89）

【定員】 100 人

【対象者】 大学関係者、一般参加者（大学生以上）

【お申込みはこちらから】

申込み用フォーム

<https://forms.office.com/r/i2SsLS7HVe>

【基本講演】 13：35 - 14：20

『デジタル×関係人口×地域の熱意による本気の地域活性化』

講師：山形県西川町長

菅野 大志 氏（かんの だいし）

【パネルディスカッション①】 14：30 - 15：20

『デジタルによる地域企業の生産性向上』

パネリスト：

（1）株式会社キャピタルコーポレーション 村井 由香 氏（むらい ゆか）

（2）社会福祉法人 F I G 福祉会

源 良友 氏（みなもと よしとも）

（3）B I P R O G Y 株式会社

臼木 裕明 氏（うすき ひろあき）

モデレーター：広島大学 経済学部長 鈴木 喜久（すずき よしひさ）

【パネルディスカッション②】 15：30 - 16：20

『地域の関係人口づくりへの挑戦』

パネリスト：

- (1) 山形県西川町長 菅野 大志 氏 (かんの だいし)
(2) 映画監督 (Shikoku ブランド株式会社) 香西 志帆 氏 (こうざい しほ)
(3) ひろぎんエリアデザイン株式会社 井坂 晋 氏 (いさか しん)
モデレーター：広島大学 客員教授 日下 智晴 (くさか ともはる)
-

【講師・パネリストの紹介】

菅野氏は2001年財務省入省。その後、金融庁、内閣官房のまち・ひと・しごと創生本部事務局やデジタル田園都市国家構想実現会議事務局などを歴任されました。

内閣官房時代では、各省庁の地方創生関係の補助金を扱い、デジタル田園国家構想実現会議事務局では、交付金の審査担当を務められました。

自身の生まれ故郷である人口わずか約4800人の西川町が、年間100人ペースで人口が減少していることに危機感を感じ、町長選出馬を決意。内閣官房時代の経験を活かし、町長就任から5カ月で約1億8000万円の国の補助金を獲得するなど、地域創生を実践していることでマスコミからも注目を集めています。

香西氏は、現役銀行員として働くかたわら、2006年より映画製作を学び2012年長編映画初監督。2016年ハリウッド国際映画祭で2冠獲得。また、コンサルタントとして地域創世に尽力されました。多くの映像作品を制作するだけでなく、地域商品のプロデュースやブランディング、コンサルタントも担当しています。2020年4月より、百十四銀行も出資して同月に設立された「Shikokuブランド株式会社」へ「ブランディング担当ディレクター」として出向され、地域おこしに活躍中です。

【お問い合わせ先】

経済学部附属地域経済システム研究センター 安田
E-mail : ecocres@hiroshima-u.ac.jp



地域の挑戦

生産性向上と 関係人口づくり

2023年11月1日(水) 13:30-16:30

先着100名様

参加費
無料
要事前申込

会場 東千田キャンパス地域連携フロア「SENDA LAB」(広島市中区東千田町1-1-89)

主催 広島大学経済学部附属地域経済システム研究センター

※会場の駐車場は利用できません。
公共交通機関等をご利用ください。

基本講演

13:35-14:20

『デジタル×関係人口×地域の 熱意による本気の地域活性化』

講師： 山形県西川町長 菅野 大志氏

パネルディスカッション①

14:30-15:20

『デジタルによる地域企業の生産性向上』

パネリスト： 株式会社キャピタルコーポレーション 村井 由香氏
社会福祉法人F I G福祉会 源 良友氏
BIPROGY株式会社 白木 裕明氏
モデレーター： 広島大学 経済学部長 鈴木 喜久

パネルディスカッション②

15:30-16:20

『地域の関係人口づくりへの挑戦』

パネリスト： 山形県西川町長 菅野 大志氏
映画監督(Shikokuブランド株式会社) 香西 志帆氏
ひろぎんエリアデザイン株式会社 井坂 晋氏
モデレーター： 広島大学 客員教授 日下 智晴

【お申込み方法】 参加希望の方は、右記二次元コードをお読み頂くか、下記URLより応募フォームにアクセスし、応募してください。

<https://forms.office.com/r/i2SsLS7HVe>

地域経済システム研究センター 事務局

MAIL : ecocres@hiroshima-u.ac.jp

